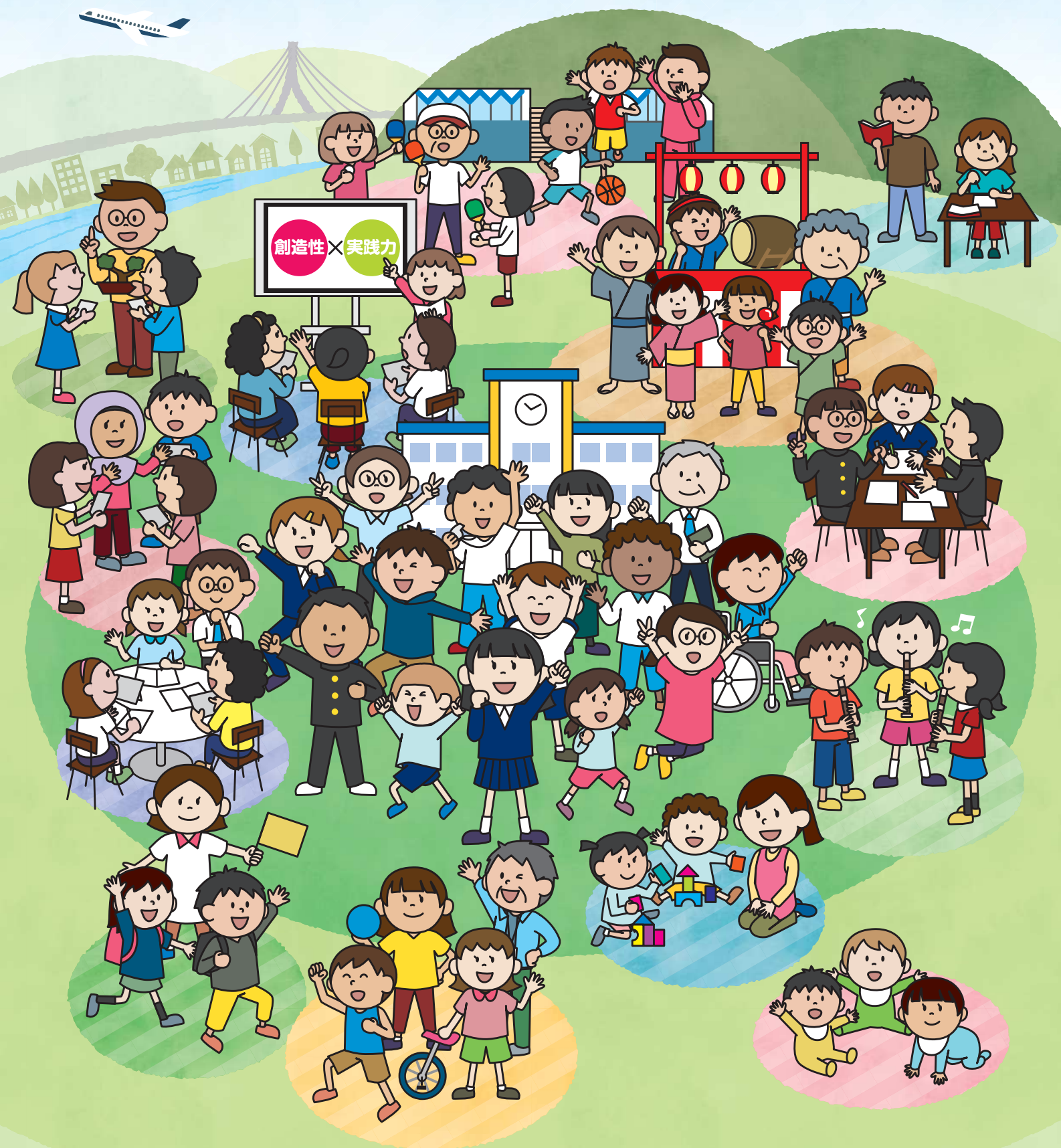


第2次 池田市教育振興基本計画



はじめに

今、社会は、感染症をはじめ人口減少・少子高齢化・科学技術やグローバル化の進展など複雑化を極め、予測困難な時代を迎えています。国においては、この時代を見据え、令和3年1月、中央教育審議会の答申として、『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』が示され、令和5年6月には第4次教育振興基本計画が、閣議決定されました。この基本計画では、「持続可能な社会の作り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をめざしています。池田市においても、平成24年度に策定した「池田市教育ビジョン」(第1次教育振興基本計画)が令和5年に最終年度を迎えたことを受け、新たな「第2次池田市教育振興基本計画」の策定に真摯に取り組んでまいりました。

「池田市教育ビジョン」(第1次教育振興基本計画)では、12年間構想として示した「学びつづけ、ともに生きる、池田の子ども」の育成をめざし、つながりのある教育の創造に邁進してまいりました。この成果と課題を引き継ぎ、「第2次池田市教育振興基本計画」においては、学校を中心として社会全体で協働することを通して、学ぶ喜びを軸とした「教育のまち池田」が描くWell-beingの実現をめざします。

わたしたちは、子どもたちに、未来の創り手としての「創造性」と「実践力」を育むとともに、池田に暮らすすべての人々が、生涯にわたり学ぶ喜びを持ち、心身ともに輝き続けることができるよう、様々な教育活動を展開してまいります。皆様におかれましては、引き続き、本市のめざす教育につきまして、ご理解とお力添えをいただけますと幸いです。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

池田市教育長
田 淵 和 明

基本構想

第1章 序論

1. 計画の概要

- ① 本計画の趣旨 4
- ② 計画の位置づけと構成 5
- ③ 計画の期間 5

2. 池田の教育を取り巻く状況

- ① 社会の動向とこれからの教育 6/7
- ② 池田の教育における特色と今後の課題 8/9

第2章 構想の理念

1. 「教育のまち池田」が描く Well-being 12/13

2. 基本構想の骨子 14/15

3. 基本方針に込めた願い

- ① 【育む】時代の変化に対応した資質能力の育成 16
- ② 【伸ばす】すべての可能性を伸ばす環境の構築 17
- ③ 【支える】安心して学び合える魅力ある学校園づくり 18
- ④ 【広げる】家庭・地域・社会における主体的な学びの推進 19

4. 本計画期間の重点施策 20

- ① 【育む】時代の変化に対応した資質能力の育成 21
- ② 【伸ばす】すべての可能性を伸ばす環境の構築 22
- ③ 【支える】安心して学び合える魅力ある学校園づくり 23
- ④ 【広げる】家庭・地域・社会における主体的な学びの推進 24

基本施策

1. 政策目標一覧 26/27

2. 施策ごとの取組み

- ① 【育む】時代の変化に対応した資質能力の育成 30～37
- ② 【伸ばす】すべての可能性を伸ばす環境の構築 38～45
- ③ 【支える】安心して学び合える魅力ある学校園づくり 46～53
- ④ 【広げる】家庭・地域・社会における主体的な学びの推進 54～61

資料編

1. 策定の経過 64～66

2. 資料 67～72

3. 用語集 73～76



基本構想

..... 第1章 序論

1. 計画の概要
2. 池田の教育を取り巻く状況





1

本計画の趣旨

今、社会は、人口減少や少子高齢化、DX（デジタルトランスフォーメーション）、グローバル化など、変動性、不確実性、複雑性が増し、先行き不透明で将来の予測が困難な時代を迎えています。また、超スマート社会（Society5.0）の到来により、労働市場の構造や職業自体が抜本的に変化していくでしょう。このような社会の中にあっては、自分の望む未来を自分自身で抱き、描き、幸福や豊かさを創り上げていくことができる教育が、一層重要なものになると考えます。

わたしたちは、池田に生きる一人ひとりの多様な幸せを願い、池田全体の願いでもあるWell-beingを具現化するため、ここに新たな池田市教育振興基本計画を策定しました。

池田の教育で創る幸福感の追求

「教育のまち池田」が描く Well-being を追い求め特色ある教育を創造します



予測することが難しい未来に対応するためには、一人ひとりが、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通じて、自らの可能性を最大限発揮し、個人の幸福と社会の幸福を創り出していくことが重要であると捉えています。

教育の価値は、断片的な知識理解に留まらず、人間だからこそ追い求めることができる真理の探究であり、その過程における学ぶ喜びと人と人とのつながり、新しい価値の創出に向かうべきであると考えます。

教育が抱える課題が複雑化・困難化している中、各々の努力や工夫だけに委ねる方法では、これからの多様な教育課題に対応していくことは不可能です。教育の価値を学習者主体で捉えた新しい教育観を共有し、学校を中心として社会全体で協働していくことを通して、学びでつながり合う Well-being を創造していきます。



一人ひとりに応じた学習者主体の教育観



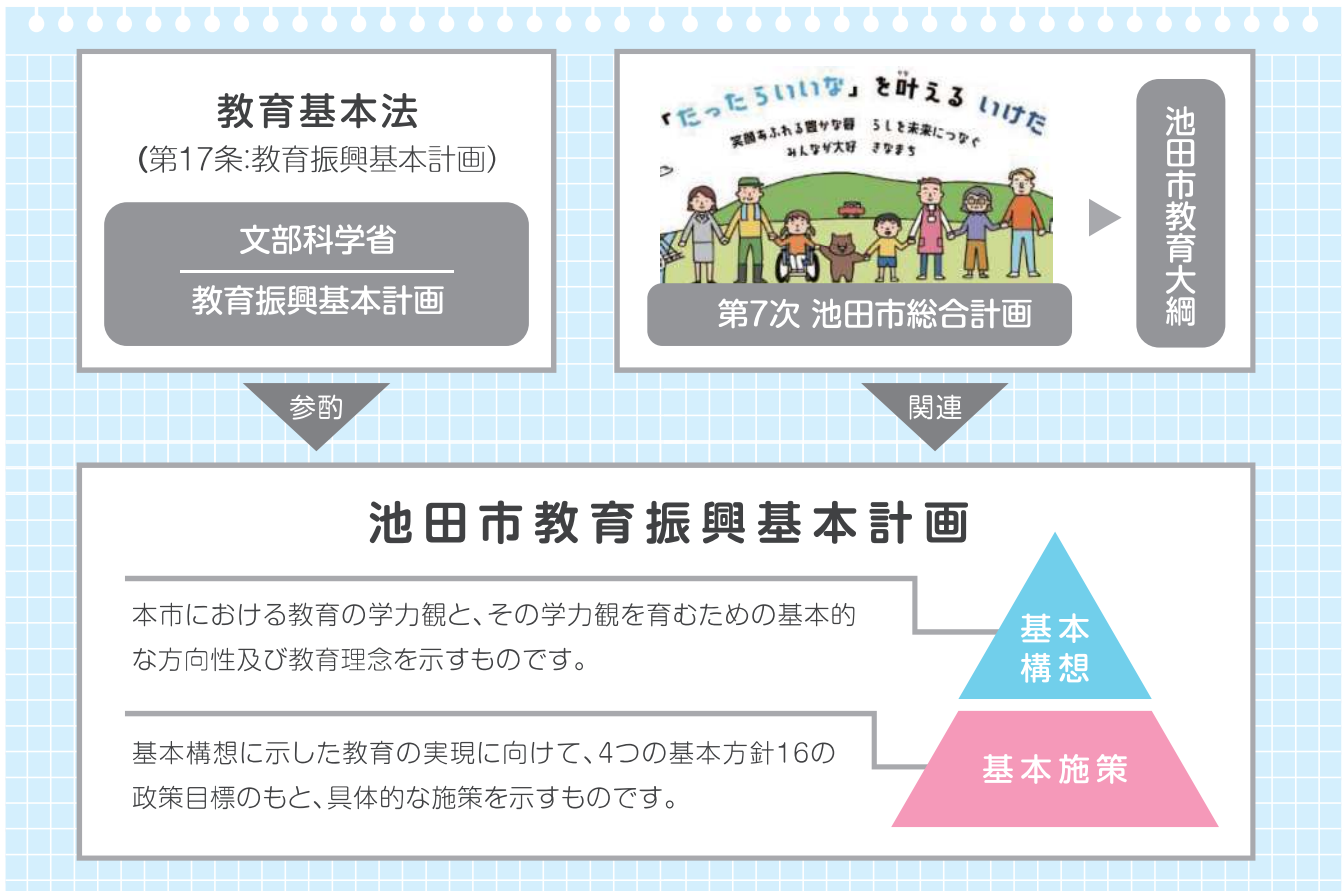
創造的かつ実践的な学びで学ぶ喜びを創出

「学ぶ喜び」こそが、「教育のまち池田」が描く Well-beingの本質であると捉えます。一人ひとりの学習者を主体とし、創造的かつ実践的な学びを重視することで、生涯を通じたあらゆる学習機会において「学ぶ喜び」を積み重ね、「幸福感」を個人と社会に創造していく教育をめざします。

本計画を、予測困難な社会における「教育のまち池田」の羅針盤として、新しい時代にふさわしい池田独自の教育改革を進めていきます。

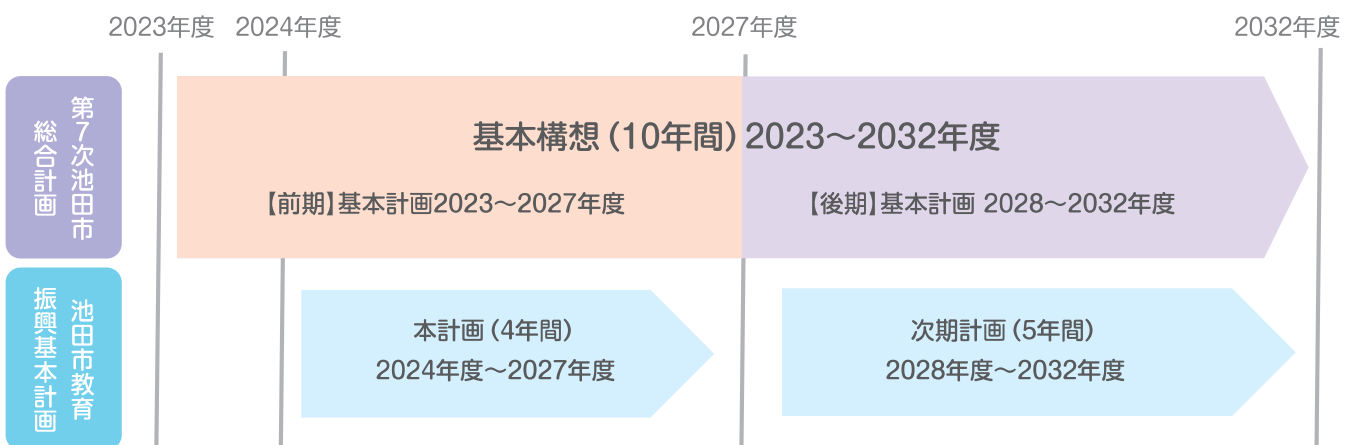
2

計画の位置づけと構成



3

計画の期間



市の10年間にわたる総合計画基本構想において、教育施策の実効性を保つ観点から、市の計画途中に教育振興計画の見直しを行う予定です。また、諸条件に変化が生じた場合は、市の総合計画との整合性を図りながら、適時改定を行います。



1

社会の動向とこれからの教育

将来の予測が困難な時代において、学力の意味、教育の意義や果たすべき役割を再考することが求められます。これまで培ってきた池田の教育を継承しつつ、社会の変化に柔軟に対応した新しい教育の創造により、「教育のまち池田」のさらなる進化をめざします。

急速に進む社会変化への対応

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字を取って「VUCA」の時代と言われています。予測できない未来に向けて、一人ひとりが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく視点が重要です。

社会構造の変化が急速に進み予測困難な未来が到来する

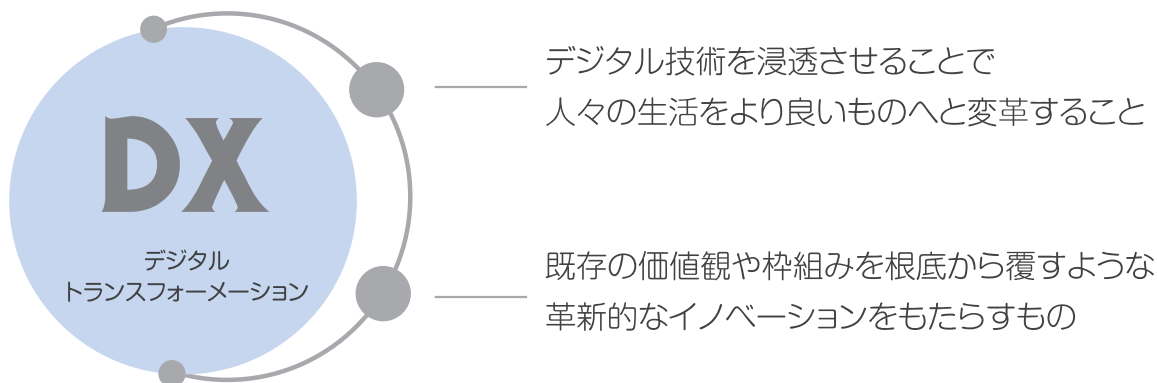
VUCA 時代

これからの時代を捉える4つの観点



先端技術の進展と活用

今後めざすべき未来社会像として、第6期科学技術・イノベーション基本計画において、「Society5.0 (超スマート社会)」が示されています。その中において、AI (人工知能) の進化、デジタルトランスフォーメーション (DX) の進展は、社会に大きな変革をもたらす可能性として注目されています。



持続可能な開発目標 SDGs

2015年9月の国連サミットで掲げられた国際開発目標。「誰一人取り残さない」を理念とし、開発途上国から先進国まであらゆる国々で、2030年までに持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための目標として設定されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



社会の動向とこれから求められる教育の整理

社会の動向	これから求められる教育の要素
VUCA時代 変動・不確実・複雑・曖昧性	自ら課題を捉え自ら学びを創出する学習の蓄積
DX デジタルトランスフォーメーション	デジタル活用による革新的な教育改革
SDGs 持続可能な開発目標	誰一人取り残さない共生社会に向けた教育

経済協力開発機構 (OECD) は、「個人と社会のウェルビーイング (Well-being) 」が「私たちの望む未来」だと示し、経済的な豊かさのみならず、精神的豊かさや健康までを含めた幸福や生きがいを重視しています。また、令和5年4月施行の「こども基本法」、令和5年12月に閣議決定された「こども大綱」では、その目的や理念として「こどもまんなか社会」が示されています。「教育のまち池田」においても、上述した社会変化を的確に捉え、子どもを中心に据えた新しい時代にふさわしい教育を創造する中で、個人と社会の幸せや豊かさを追求していくことが重要であると考えます。



2

池田の教育における特色と今後の課題

平成24年度に「教育のまち池田」の実現をめざす12年間構想としてスタートした「池田市教育ビジョン」において、これまで特色ある教育施策を展開してきました。

この12年間で教育を取り巻く状況は大きく変化しました。時代の変化に対応した新しい教育への転換が一層求められるとともに、学校教育、社会教育の双方における課題も複雑化・多様化してきています。これまでの取り組みの成果を一層発展させるとともに、顕在化する新たな課題を的確に捉えることで、新しい時代に適応した教育の実現に努めていきます。

教育のまち池田

特色ある
教育

1

各学校園での
実践研究

各学校園の多様な教育課題に対し研究委託を行い、全学校園において子どもの姿から学ぶ実践研究を進めています。

2

計画的なICT整備
と効果的活用

創造的な思考を豊かにするICT環境整備と活用促進により、学びの質的向上と教員の業務改善を一体的に進めています。

3

学びをつなぐ
一貫教育

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を学びの土台とし、5つの学園による特色ある一貫教育を進めています。



顕在化する新たな教育課題

① 「学びの在り方」の変革

子どもの多様化が進む教室の状況の中で、問題発見・解決力、創造性等が求められるという時代の変化に応じて、画一的な学びから一人ひとりが生きる学びへと「学びの在り方」の変革が必要です。

③ 教職員の確保・育成と業務改善

全国的な教員不足が進む中において、人材の確保と育成の一体的充実が一層求められます。また、教職員が活力をもって教育活動にあたるよう、業務内容の精査・改善を一層進めていく必要があります。

② 多様化する学びの場と支援ニーズ

教室の外に学びの場を求める児童・生徒の増加、支援ニーズの多様化が進む現状において、一人ひとりの状況に応じた教育環境と支援体制の一層の充実が必要です。

④ 学校教育と社会教育の協働

少子高齢化、地域のつながりの希薄化による地域の教育力低下に加え、学校が抱える課題の複雑化・多様化をうけ、子どもを軸とした学校教育と社会教育の協働的な取組みの推進が重要です。

4

個々の状況に応じた学習環境

一人ひとりの多様化する学びのニーズを捉え、誰一人取り残さない教育を実現するための環境づくりを進めています。

5

採用から育成の一体的充実

大阪府からの人事権移譲を受け、豊能地区各自治体との連携のもと、採用と育成の一体的充実を進めています。

6

教育コミュニティづくりの推進

教育や子育てに関する課題を学校・家庭・地域で共有し、課題解決に向けた協働の取組みを進めています。

7

生涯学習社会の実現

市民一人ひとりがそれぞれに適した学び方を選択し、生涯学び続けることができるよう、活動支援や環境の整備を進めています。





基本構想

..... 第2章 構想の理念

1. 「教育のまち池田」が描く Well-being
2. 基本構想の骨子
3. 基本方針に込めた願い
4. 本計画期間の重点施策



Well-being を柱とした新しい教育観の共有

予測が困難で急激な社会変化、多岐にわたる教育課題に対応するため、教育の目的は、「個人と社会の Well-being を実現すること」に向かうべきであると考えます。Well-being の捉え方は、国や地域の文化的・社会的背景により異なり得るものであり、一人ひとりの置かれた状況によっても多様となり得るものです。だからこそ、一人ひとりに応じた学習者主体の教育観を、池田全体で共有し、子どもはもちろん、保護者や教職員、地域コミュニティ、社会教育を担う団体・施設等、池田の教育に携わるすべての人々との協働の中で、学びでつながり合う Well-being をめざしていきます。

Well-beingの概念と教育に関する要素 (国の教育振興基本計画より)



- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。



池田の教育で創る幸福感の追求



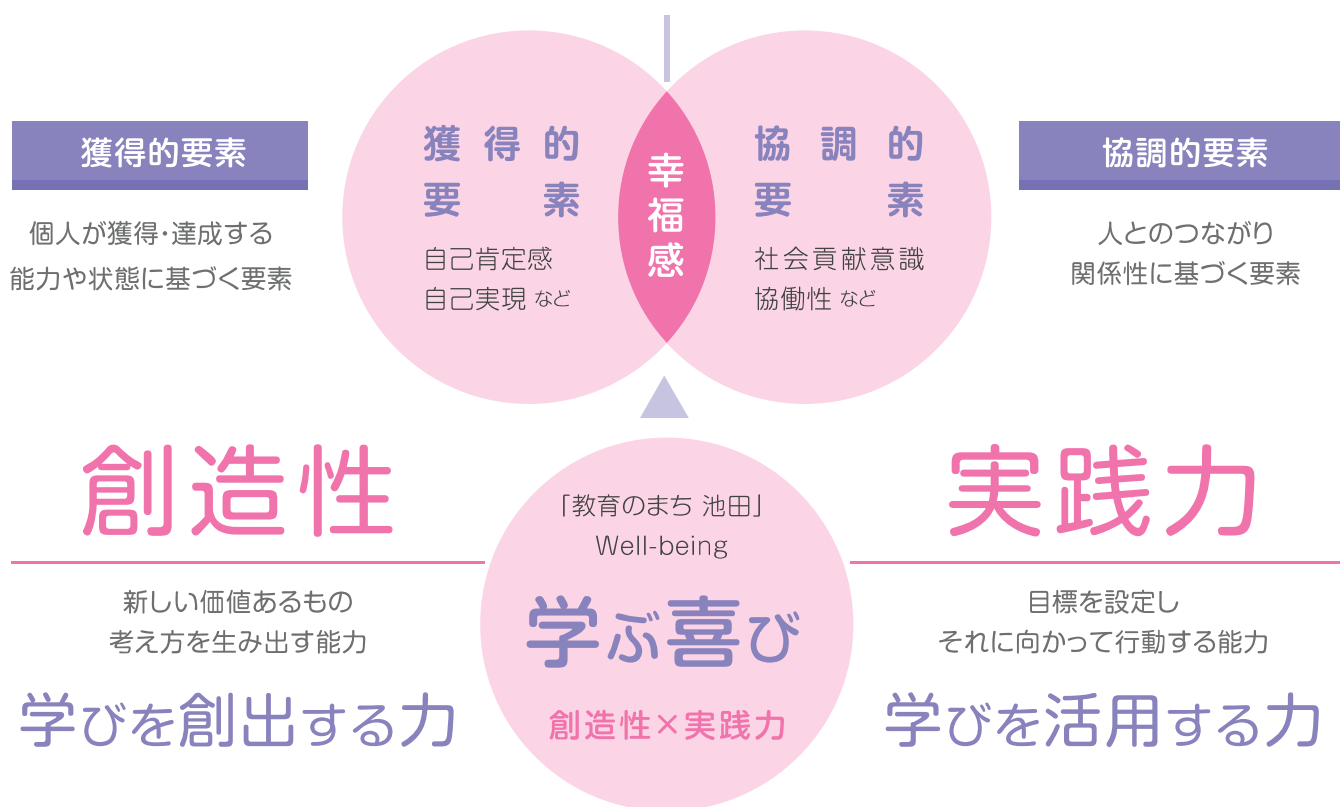
「教育に関する Well-being の要素」が多岐にわたる中、池田では、「幸福感」をその他の要素を包括する上位の要素として捉え、「教育の力で創造する個人と社会の『幸福感』」と銘打ち、本計画における最上位目標として設定します。今一度、学校園で共に学ぶ一人ひとりの子どもたちが幸福かどうかという視点に立ち返り、学習者主体の学びを追求するとともに、個人の成長と教育機会の提供、地域コミュニティの醸成を軸に、豊かさや幸せを生み出す生涯学習を推進していきます。

学ぶ喜びを本質としたWell-being

「教育のまち池田」が描く Well-being の未来像は、一人ひとりに応じた「幸福感」に支えられるものであり、その実現への道のりは、単純なものではありません。その中で、教育が果たすべき役割は、学校教育を中心に、あらゆる学習機会において、「学ぶ喜び」を創造していくことであり、学びを通して、個人の成長実感と、協働することの尊さや価値を創出していくことであると考えます。

さらに、「学ぶ喜び」は一方に与えられるものではなく、実践的な学びの過程で、自らが創造していくものであると捉えます。「学ぶ喜び」の中で、創造性と実践力を育み、その創造性と実践力を生かすことで、また、「学ぶ喜び」を創出していく…。この「学ぶ喜び」の連続こそが、「教育のまち池田」が描く Well-being の本質であり、今と未来を貫き、個人と周りの他者を結ぶ「幸福感」へとつながっていくものです。

調和的・一体的に育んでいくことを通して豊かな「幸福感」を醸成



学ぶ喜びを創出する4つの視点

「育む」べき資質・能力、「伸ばす」べき個性と可能性、「支える」べき環境、「広げる」べき縦と横のつながり、この4つの視点のもと、体系的かつ一体的に教育政策を推進していくことで、学校教育と社会教育のあらゆる学習機会において、「学ぶ喜び」を創出していきます。

3つの基本理念と4つの基本方針
「教育のまち池田」が描く Well-being の実現

「教育のまち池田」が描く Well-being の実現に向けて、前教育ビジョンより買ってきた「教育のまち池田」3つの基本理念は、「教育のまち池田」の普遍的価値として継承します。「一人ひとりの生命と人権の尊重」を根幹に、「生涯にわたり培う学ぶ意欲と展望」と「多様な人々との協働と協創」を全教育施策の共通理念として位置づけていきます。

「教育のまち池田」
Well-being

教育の力で個人と社会の
幸福感を創造する



心豊かな
人づくり

生涯にわたり培う
学ぶ意欲と展望

教育のまち 池田

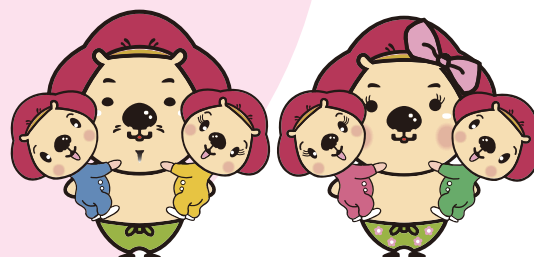
3つの
基本理念

心なごむ
まちづくり

多様な人々との
協働と協創

心かよいとなみ

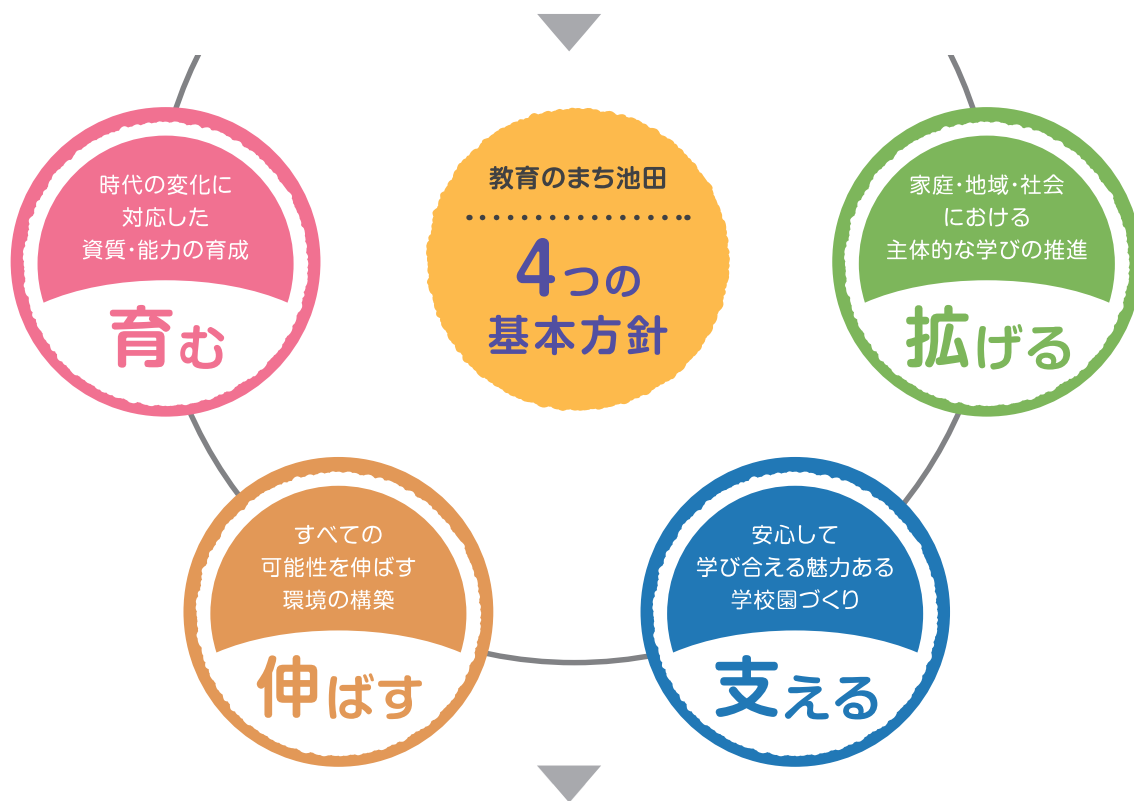
一人ひとりの生命と人権の尊重



3つの基本理念のもと、教育の力で個人と社会の幸福感を創造するためには、「学ぶ喜び」を創出する教育の実現が必要不可欠です。そのための重要な資質・能力として、「創造性」と「実践力」の2つを定め、学びの在り方を変革していく中心の視点として位置づけていきます。「創造性」と「実践力」は、豊かな学習経験の中でこそ体得していくことができる資質・能力であると捉えます。乳児期から幼児期、義務教育、その先の未来…あらゆる学習機会において学ぶ喜びを積み重ね、どれだけ社会が変化しようと、生涯にわたり自分らしく未来を創造し切り拓いていくことができる実践力の育成と活用をめざし、4つの基本方針により、総合的かつ体系的に取り組を進めていきます。

学ぶ喜びを創出する2つの資質・能力

創造性と実践力を育み生かす教育



第7次池田市総合計画の基本構想 めざすまちの将来像

「だったらいいな」を叶える いけだ

笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐ みんなが大好きなまち

教育の力で描く池田の未来像



「教育のまち池田」が描くWell-beingでは、「学ぶ喜び」を中核として、子どもたちはもちろん、教職員も含めた学校園全体で幸せや豊かさが感じられることをめざします。そして、その学校園において創造された幸福感が、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりがまた、多様な個人を支え、将来にわたり世代を超えて循環していく池田の未来像を描いていきます。この未来像は、第7次池田市総合計画が掲げるめざすまちの将来像「『だったらいいな』を叶える いけだ」とも重なるものです。

そうした願いのもと、4つの基本方針からなる具体的な政策の展開については、学校教育と社会教育の協働をこれまで以上に重視していきます。困難化・複雑化が進む教育課題に対し、一体的に取組みを進めることで課題解決を図りながら、一人ひとりの学びが発揮できる場を、学校教育の中にも社会教育の中にも充実させることで、「学びと活動の好循環」を池田全体に広げていきます。

1 【育む】時代の変化に対応した資質・能力の育成

時代の変化に対応した
資質・能力の育成

育む

池田の学校園では、「学力は子どもの学びの姿にこそ表れる」という信念を大切にしています。学びに向かう力をはじめとした非認知能力を学びの根幹として捉え、一人で学び抜く力、協働して学び合う力を継続的に育んでいきます。

これまでも大切にしてきた豊かな体験的学習活動と高め合える学習集団づくりは、引き続き重視しつつ、教育DXを、新たな重要観点として設定することで、学びの在り方を本質的に変革し、各学園の魅力ある教育実践を一層推進していきます。

「教育のまち池田」学校園における教育の本質

学力→学びの姿

学力は子どもの学びの姿にこそ表れる

あらゆる問題場面において育んだ感性と知性を生かしながら
自分に合った最適な方法で解決を図ることができる学びに向かう力



一人で学ぶ力

児童・生徒が自分自身の学習活動に能動的に関わり、自分自身の学習状況を自らが認知・理解しながら粘り強く学ぶことができる力を育みます。

教育のまち池田

学校園で育む

2つの 学びの力

協働して学ぶ力

自分とは異なる考え方に触れながら、自分自身の中の意見や考えを広げたり深めたりするとともに、協創的に問題を解決することができる力を育みます。

豊かな
体験的学習活動

「知」と「体験」

学習と体験とが
結びつくことで実感が
伴う学びへ

学びを発揮できる場を重視

単純な解を求めるような学習場面だけではなく、知識を構造化したり思考を紡いだりするような学習場面を重視するとともに、困難を共に乗り越える経験、身につけた能力を発揮できた達成感や学びが深まる充足感を味わえる教育を大切にします。

協働する
学習集団づくり

「個」と「協働」

個の学びと協働的な
学びの一体的充実で
深い学びへ

探究的な学習デザイン

児童・生徒が自己とのつながりの中で課題を捉え、その解決に向けて探究的に学習する授業デザインへと学びの在り方を変革します。

学びを
本質的に変革する
観点

教育DX

最適な知の獲得

児童・生徒一人ひとりの認知特性、理解度、発達段階に応じて、最適な方法で学ぶことができるよう、学習の在り方を変革します。

2

【伸ばす】すべての可能性を伸ばす環境の構築

すべての可能性を伸ばす環境の構築

伸ばす

子どもたち一人ひとりがもつ多様な個性が長所として肯定され生かされる教育、長所や強みを生かすといった視点に立った教育をめざします。多様化する一人ひとりの教育的ニーズに対応できる環境を構築するとともに、幼児期からの学びの連続性を重視した一貫教育により、池田で学ぶすべての子どもたちが学ぶ喜びを感じることができ学校園でありたいと願っています。学ぶ喜びを積み重ねていく連続した教育の中で、一人ひとりがもつ可能性を伸ばす教育の実現をめざします。

教育課題・支援ニーズの増加と多様化

発達障がいや特異な才能、家で日本語を話す頻度が低い子ども、家庭の文化資産の差による学力差、個々の認知特性の違い等、子どもたちの課題や支援ニーズが多様化している実態への対応が必要。

教室における2つの重要課題

教室外に学びの場を求める児童・生徒の増加

不登校、不登校傾向の児童・生徒が増加していることに加え、学校に登校していても、通常の学級で学ぶことに困難を抱く児童・生徒も多く、従来の学び方とは違う一人ひとりに応じた学びの場の選択肢が必要。

多様なニーズに対応する支援教育

一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援教育を充実します。

学ぶ喜びを池田で学ぶすべての子に

学ぶ喜びを積み重ねていく学校園で、一人ひとりの可能性を伸ばしていきます。

すべての子の学びの場を保障

学びの場の選択肢を広げることで、すべての子の学びを保障します。



一貫教育で貫く学びの連続性

子ども理解を柱に

幼・小・中の学びの連続性を重視することで、個々の能力を最大限に伸ばします。



学びの芽生えを育む幼児教育

池田の一貫教育は幼児教育から

幼児期の終わりまでに育てほしい『10の姿』をもとに、学びの芽生えを生涯にわたる学びの土台として、学びの連続性を重視した一貫教育を進めています。

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり・生命尊重

思考力の芽生え

数量・図形文字等への関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

3 【支える】安心して学び合える魅力ある学校園づくり

安心して
学び合える魅力ある
学校園づくり

支える

教職員が「より良い教育を創造するための時間」に注力できるよう、学校園の業務改善を促進します。さらに、教職員の採用と育成の一体的充実を図ること、時代のニーズに応じた環境整備を進めることで、学校園の魅力を、人材面と環境面から高めていきます。

また、学校安全を、引き続き池田の教育の使命として位置づけ、環境の整備、家庭・地域・関係機関との連携等により、子どもの安全を守っていきます。その上で、子どもたちの現代的な健康課題に対応できるよう学校保健の機能強化をめざすとともに、学校給食を通じた健康の維持増進と食育推進により、魅力ある学校園づくりを支えます。

教職員

豊能地区教職員人事協議会との連携により、教職員として高い資質を備えた人材の確保に努めます。

採用

採用と育成の
一体的な充実

教職員が主体的かつ協働的に学び続けることができるよう、教職員研修の充実を図ります。

育成



教育の
質的向上

環境整備

教材

学校園が学びの可能性をさらに高められるよう、学校園のニーズに応じた備品整備を行います。

時代のニーズに
対応する整備

施設

多様な学習形態に対応できるよう、機能的な施設環境への転換に向けての検討を進めます。

業務
改善

教育の質の向上に向けた学校業務の在り方の抜本的改善

教職員が子どもたちとじっくり向き合える時間を確保し、一丸となって教育実践に励むことができるよう、働き方、組織体制、業務のスリム化等、多様な観点から抜本的な改革に向けた取組みを推進していきます。

現代的な健康管理

多様化する子どもの現代的な健康課題の解決や改善に向けた学校保健の充実を進めます。

保健

安全・安心
健康

栄養豊かな 学校給食の提供

食についての興味や理解の向上を図るとともに、地産地消の取組みを推進し、魅力的な給食を提供します。

給食

安全
管理

子どもの安全を守る学校園づくりが「教育のまち池田」の根幹

「子どもたちの安全が何よりも優先される」という認識のもと、学校施設環境の整備、家庭・地域・関係機関との連携による体制の強化を図り、学校園を支えます。

基本構想 第1章

1 1 2 3

2 1 2

基本構想 第2章

1 2 3 4 1 2 3 4

4 1 2 3 4

基本施策

1 2 1 2 3 4

資料編

1 2 3

4

【拡げる】家庭・地域・社会における主体的な学びの推進

家庭・地域・社会
における
主体的な学びの推進

拡げる

人生100年時代・VUCA時代において、生涯学習の必要性は一層重要なものになります。社会的包摂の観点も踏まえ各個人のニーズに応じた多様な学習機会を充実させることで、個人の積極性・自発性・意思に基づく学習が持続できる環境を整えていきます。さらに、個人の成長や自己実現のみならず、地域コミュニティの発展に向けた取組みを充実させていくことにより、「学び」を通じた人と人とのつながりを深めていきたいと願っています。

生涯学習を通じた個人の成長と持続的な地域コミュニティを基盤に、つながりを軸とした学びと活動の好循環を生み出すことで、特色ある「教育のまち池田」の社会教育を創造的に発展させ、Well-being の実現に向けた取組みを拡げていきます。

人生100年時代・VUCA時代に学び続ける教育



生涯を通じて学び、その成果を地域での活動に生かすことで「学びと活動の好循環」を生み出し、個人の成長・幸せと持続的な地域コミュニティを共に実現します。

学ぶ喜びの中で創造性と実践力を育み

その創造性と実践力を生かす中でまた学ぶ喜びを創出する

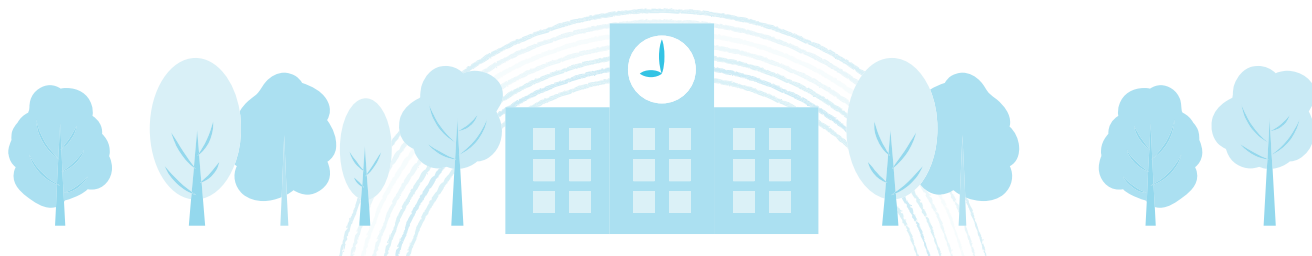
「教育のまち池田」が描く Well-being

実現に向けて本計画期間中に重要視する観点の整理

取り組むべき教育課題が多岐にわたる中、教育の力で一人ひとりの幸福感を創出するため、次の内容を「教育のまち池田」が描く Well-being の重要観点として定め、本計画期間中において、課題解決を図るとともに、魅力ある教育の創造に向けた取組みを特に強化していきます。



- 1 特色ある学校園づくり
- 2 教育DXによる学び方改革
- 3 個に応じた学びの場
- 4 子ども理解・学びの連続性
- 5 教職員の働きがいと活力
- 6 学校園と地域・社会との協働
- 7 学びでつながる地域づくり
- 8 時代に応じた学習機会



1

【育む】時代の変化に対応した資質・能力の育成

時代の変化に
対応した
資質・能力の育成

育む

教育DXの観点から新たな学びの在り方を追究するとともに、
子どもが豊かに育つ**学校園づくり**を推進します。

特色ある学校園づくり

外部人材の
活用

研究推進
委託事業
の強化

教育課程編成
の創意工夫

学校現場の課題が多様化・複雑化・困難化する中、各学校園の実態や願いに応じた研究や教育実践を一層推進することで、子どもの豊かな学びを中心に据えた特色ある魅力的な学校園づくりを進めます。



教育DXによる学び方改革

研修体制の
工夫・強化

専門人材の
配置

ICT教材
の充実・活用

ICTの適切かつ効果的な活用により、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成において、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるとともに、探究的な学びの過程で、学ぶ喜びを感じ、学びに向かう力を育めるよう、授業改革を進めます。





2

【伸ばす】すべての可能性を伸ばす環境の構築

すべての
可能性を伸ばす
環境の構築

伸ばす

個に応じた学びの場の充実と学びの連続性を重視した
一貫教育により、児童・生徒の可能性を最大限伸ばします。

◆ 個に応じた学びの場

人材の
適正配置

専門機関との
連携強化

ICTの可能性
の研究

すべての教室で安心して学ぶことができる学校園づくりを進めることを中心に、ICT活用の可能性も含め、一人ひとりの発達の特長や教育的ニーズに応じた支援方法の研究、学びの場の選択肢拡充の検討を進めるとともに、児童・生徒、保護者、教職員からの相談体制の充実、専門機関との連携強化を図ることで、池田で学ぶすべての子どもたちの学力保障をめざします。



◆ 子ども理解・学びの連続性

幼小接続
の強化

学びの連続性を
重視した研究

理念・取組みの
発信と共有

幼児教育と義務教育との接続期における学びのつながりを一層重視するとともに、小・中を貫く学びの連続性を大切にした授業研究の強化を図ることで、一人ひとりの個性と可能性を最大限伸ばす一貫教育を推進します。



3

【支える】安心して学び合える魅力ある学校園づくり

安心して
学び合える
魅力ある学校園づくり

支える

教職員が生き生きと働くことができるよう、**業務改善**と
教育の質を高める**環境の構築**を一体的に充実します。

◆ 教職員の働きがいと活力

正規教員の
計画配置

DXによる
業務スリム化

職員の
配置拡充



学校現場における全国的な教員不足・業務過多が社会問題化する中、教職員が子どもと向き合う時間と質の向上に向けて、適切な人材の確保とDXの観点からの抜本的な業務改善を促進するとともに、教職員が進んで学び続けることができる環境づくりを進めます。

◆ 学校園と地域・社会との協働

地域人材
との協働

コミュニティ
スクール

企業・各種団体
との連携



コミュニティ・スクールの拡充を視野に、社会に開かれた学校園づくりを一層促進し、保護者や地域住民、企業や各種団体との連携を強化することで、学校園における多様な教育課題に対し、協働的に解決を図ることができる学校園づくりをめざします。



4 【拡げる】家庭・地域・社会における主体的な学びの推進

家庭・地域・社会
における
主体的な学びの推進

拡げる

地域コミュニティと学校園とのつながり強化と社会教育の発展的充実により、**学びと活動の好循環**を創出します。

◆ 学びでつながる地域づくり

留守家庭
児童会の強化

学校園との
連携強化

地域人材の
育成

子どもの居場所や学びの場を地域に創り、学校園を中心として学びでつながり合うことで、地域における多世代交流を通じた絆づくり、学びの成果を生かした地域づくりを通じて、地域コミュニティの維持や再構築に向けた取組みを推進していきます。



◆ 時代に応じた学習機会

DX による
学びの広がり

学習機会の
創意工夫

部活動の
地域移行

グローバル化や技術革新、少子高齢化による社会構造が変化していく中、デジタル技術の効果的な活用も含め、社会の変化に対応した豊かな学習機会と場の提供に努めることで、住民が様々な学習活動に主体的に取り組めるよう生涯学習推進体制の強化を図ります。

